

2023年度 公募制推薦選抜入学試験

2023 年度公募制推薦選抜入学試験については、学部により試験日に筆記試験を実施、または事前に課題提出を課しました。各学部の選考方法は以下のとおりです。

学部	選考方法
心理学部	筆記試験（小論文）
法学部	課題提出（レポート）
経営学部	筆記試験（小論文）
経済学部	筆記試験（小論文）
文学部哲学科	課題提出（小論文）
文学部史学科	課題提出（小論文）
文学部社会学科	課題提出（小論文）
文学部文学科 日本語日本文学専攻コース	課題提出（小論文）
文学部文学科 英語英米文学専攻コース	課題提出（小論文、リーディング練習）
仏教学部	課題提出（レポート）
データサイエンス学部	課題提出（小論文）
地球環境科学部環境システム学科	筆記試験（小論文）
地球環境科学部地理学科	課題提出（小論文）
社会福祉学部	課題提出（小論文）

出題内容は、次ページよりご確認ください。

2023年度 心理学部 公募制推薦選抜入学試験問題

(試験時間60分)

図1は令和元年と令和2年の小学校のいじめ認知件数を示したもので、図2は令和元年と令和2年の不登校児童数を示したものです。この図から「近年、いじめの認知件数は減っているが不登校児童数の方が増えているため、いじめ問題よりも不登校児童への対策に力を入れるべきだ」という意見が出されました。平成25年から令和2年までの小学校のいじめの認知件数の推移を示した表1の数値や、不登校児童数の推移を示した表2の数値に基づいて、この意見が正しいとはいえない理由を、複数、論じてください(600字以内)。

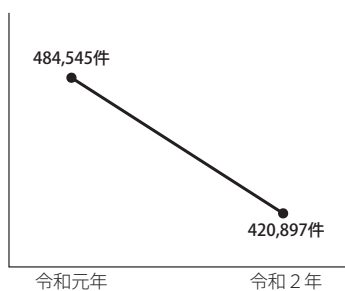


図1 令和元年・令和2年の小学校のいじめ認知件数

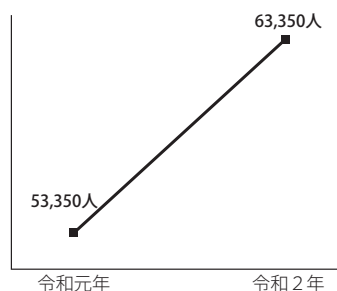


図2 令和元年・令和2年の小学校の不登校児童数

表1 小学校のいじめの認知件数の推移(件)

平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
118,748	122,734	151,692	237,256	317,121	425,844	484,545	420,897

表2 小学校の不登校児童数の推移(人)

平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
24,175	25,864	27,583	30,448	35,032	44,841	53,350	63,350

出典：令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要(文部科学省)

課題（小論文）

2023年度 法学部 公募制推薦選抜入学試験 課題（小論文）

〈出題内容〉

2022年4月より成人年齢が引き下げられ、社会生活上、18歳、19歳の若者が自分で決定できることが広がりました。このことにより期待される社会的意義と懸念される事柄を踏まえて、成人年齢引き下げに対するあなたの考えを述べなさい。（1600字以内）

【問題】

新型コロナウイルス感染拡大の影響もありテレワークの活用が進んでいる。一方で様々な理由からテレワークの比率を下げる企業も出現している。以下の記事1～3を参考にしてテレワークとオフィスに出社しての勤務のそれぞれについてどのような利点があるのか整理して記述しなさい。また、それぞれの働き方にどのような課題があると考えられるかあなたの意見を述べなさい。最後に、それらを踏まえたうえで日本企業が進むべき働き方の方向性についてあなたの考えを述べなさい。(640字以上800字以内)

【記事1】

ホンダ、国内全部署で原則出社 変革期で対面重視

ホンダは本社部門や研究所などで原則出社とする。これまでは新型コロナウイルス禍でテレワークなど在宅勤務の活用が主体だった。5月上旬に国内全社を対象に方針を通達しており、各職場の状況に応じて段階的に運用を切り替えてもらう。ワクチン接種が進み感染の広がりが落ち着いてきたほか、電気自動車（EV）シフトなど変革期で事業を円滑に進めるために対面の働き方を重視する。

工場や営業、総務、研究所など全ての部署が対象となる。出社を原則とするが、各職場で状況が異なることから段階的に柔軟に対応してもらう。育児や介護などで必要な場合は引き続き在宅勤務を活用できる。

ホンダはEVシフトを進めているほか、航空機やロケットなど新分野の事業開発強化を掲げている。社員の出社頻度をコロナ禍前の水準に戻すことで、社内のコミュニケーションを活性化し、事業の成長に結びつける狙いだ。「強制でない。在宅勤務は必要に応じて活用を続ける」（ホンダ）という。

自動車業界では原則出社とするのは珍しい。ただ足元では出社比率が高まっている。トヨタ自動車は愛知県での工業用水不足で一時的に在宅勤務を推奨しているものの、段階的に出社率が高まっていた。1月時点では愛知県豊田市の本社地区で出社率が40～50%だったが、4月には50～60%に高まり、東京地区では同20%から30%に高まっている。日産自動車は感染拡大防止の観点から出社を原則とはしていない。引き続き在宅勤務を活用する方針だ。

日本経済新聞 2022年5月20日 より一部抜粋・改変

【記事2】

NTT、来月から3万人テレワーク 居住地は全国自由に 出社は出張扱い、飛行機も容認

NTTは7月から国内のどこでも自由に居住して勤務できる制度を導入する。主要7社の従業員の半分となる約3万人を原則テレワークの働き方とし、勤務場所は自宅やサテライトオフィスなどとする。出社が必要になった場合の交通費の支給上限は設けず、飛行機も利用できる。多様な働き方を認め、優秀な人材の獲得につなげる。NTTの取り組みが、多くの企業の働き方改革に影響を与える可能性がある。

6月中旬、制度導入を巡り労働組合と合意した。まずNTT、NTTドコモやNTTデータなど主要7社が対象になる。7社の従業員数の合計は6万人で半分が原則テレワークで働くことになる。課題を検証しながらグループ全体に広げる。NTTの国内従業員数はグループ会社を含めて約18万人いる。

各社でテレワークを原則とする部や課などの部署を決める。企画やシステム開発などが中心となる見込みだ。NTTは2021年9月に転勤や単身赴任をなくす方針を打ち出した。新制度の導入に伴い、単身赴任している社員が自宅に戻る場合の引っ越し代は会社が負担する。出社が必要になった場合は「出張扱い」とし、宿泊費も負担する。

子育て中や介護中の社員も働きやすくなり、人材の多様性（ダイバーシティ）が生まれ新たな付加価値を生み出せると見込む。場所にとらわれない働き方は人材採用でも働き手にアピールしやすいとみる。

日本経済新聞 2022年6月19日 より一部抜粋・改変

【記事3】

出社はコロナ前の6割 企業、働き方の最適解模索

新型コロナウイルス禍で企業が生産性と柔軟な働き方の両立を模索するなか、出社がじわり増えている。日本経済新聞がスマートフォンの位置情報データを活用し主要企業が本社を置く地区を分析したところ、6月第4週の出勤者数が3月中旬に比べ少なくとも2割増えていた。ただ、主要地区の出勤者数はコロナ前の6割の水準にとどまる。足元で再び急速にコロナの感染が拡大しており、最適解を巡って判断に迷う企業も出てきそうだ。

いすゞ自動車は同地区に5月に本社を移転。コロナ感染拡大が落ち着いた時期であったことなどから同月から原則出社とした。「拠点集約でグループ企業間の連携を取りやすくするなど円滑に業務を進めるため」（同社）とする。40代の男性社員は「何気ない相談などがしやすく仕事の効率があがった面もあるが、テレワークと組み合わせる方法もあったのではないかと話す。

多くの企業はテレワークと出社を組み合わせたハイブリッド型の働き方を現時点で導入しており、そのバランスを探っている。東芝もコロナ前の出社を前提としていた勤務体系を改め在宅と出社を組み合わせる働き方に移行する。

出社に関する企業の方針は多様だ。ホンダが5月から原則出社に切り替える一方で、三菱ケミカルグループのように本社などのオフィス従業員を対象に完全テレワーク制度を恒久的に導入する企業もある。

パソル総合研究所の小林祐児 主任研究員は「日本ではコロナ禍の新たな働き方の総括がないままに、出社が増えている企業も多い」とみる。企業は働き方の最適解を探り続ける必要があるとそうだ。

日本経済新聞 2022年7月21日 より一部抜粋・改変

2021年10月に閣議決定された第6次エネルギー基本計画は、「2030年度の新たな温室効果ガス削減目標として、2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続ける」というエネルギー政策の道筋を示したものである。2030年度の温室効果ガス46%削減に向けた電源構成において、再生可能エネルギーの割合は36%～38%程度とすることが見込まれている。一方、原子力の比率目標は20%～22%とされている。以下の記述を参考にして図にある3カ国の電源構成の特徴を説明した上で、今後の我が国のエネルギー政策の見通しについて、あなたの考えを述べなさい。(800字以内)

【記述】日本経済新聞(2022年9月2日、朝刊)

原発活用、問われる覚悟 「現実解」にカジ切る欧州

「安全でクリーンかつ、安価な新世代の原子炉を採用する」。英国のジョンソン首相は4月、こう宣言した。英国では20年以上、原子力発電所の増設がなかったが、2030年までに最大8基を建設し、原発の活用にかじを切る。50年時点の電力需要に占める原発の割合は足元の16%程度から25%に上がる。

独も見直し検討

フランスも動く。ボルヌ首相は7月、仏電力公社(EDF)を100%国有化すると発表。「気候変動対策で大胆な決断をしなければいけない」。50年までに原子炉を新たに6基造る目標の達成へ、国の管理下で資金支援に万全を期す。

ウクライナ侵攻が、欧州に根付きつつあった原発への慎重論を緩ませた。ドイツも稼働は22年までと見込んでいた脱原発の見直しを検討する。欧州議会は7月、一定の条件のもと、原発と天然ガスを環境面で持続可能な事業と認めた。エネルギーが足りないという目の前の危機が欧州を「現実解」に揺り戻す。

危機をてこに脱炭素と経済成長を両立した先例はある。北欧スウェーデンだ。

独ポツダム気候影響研究所によると、同国の二酸化炭素(CO₂)排出量は1970年をピークに2019年には半分以下に減った。この間、1人当たり国内総生産(GDP)は11倍に伸びた。1人当たりCO₂排出量とGDPは1960～70年代前半はどちらも増えたが、80年代に入るとGDPはプラス、CO₂はマイナスと逆に動き出した。

相関を崩したのは原発だ。第1次石油危機を契機に原発活用にかじを切り2020年時点で発電量の3割を担う。再生可能エネルギーも使い、ほぼ全ての電力を脱炭素に置き換えた。

原発は事故のリスクや核廃棄物の問題がある。20年時点で発電量の約35%を原発で賄う隣国フィンランドのマリン首相は「原子力は短期あるいは中期の対応策だ」と指摘する。再生エネや水素が普及するまでの「つなぎ」と位置づける。

国際エネルギー機関(IEA)は各国が掲げる公約が全て達成されても30年のCO₂排出量は20年比1.5%減にとどまると予測する。温暖化ガスはなかなか減らず、孫世代への負担の先送りは限界に近い。

「再生エネや原子力はGX(グリーントランスフォーメーション)を進める上で不可欠な脱炭素エネルギーだ」。岸田文雄首相は8月24日、原発の活用を拡大していく方策の検討を関係省庁に指示した。

3月の福島県沖の地震で火力発電所が止まって電力供給の綱渡りが続き、ロシア産の液化天然ガス(LNG)の途絶も現実味を帯びる。かつてないエネルギー危機を前にし、空転を続けてきた原発活用の議論がようやく動き出した。

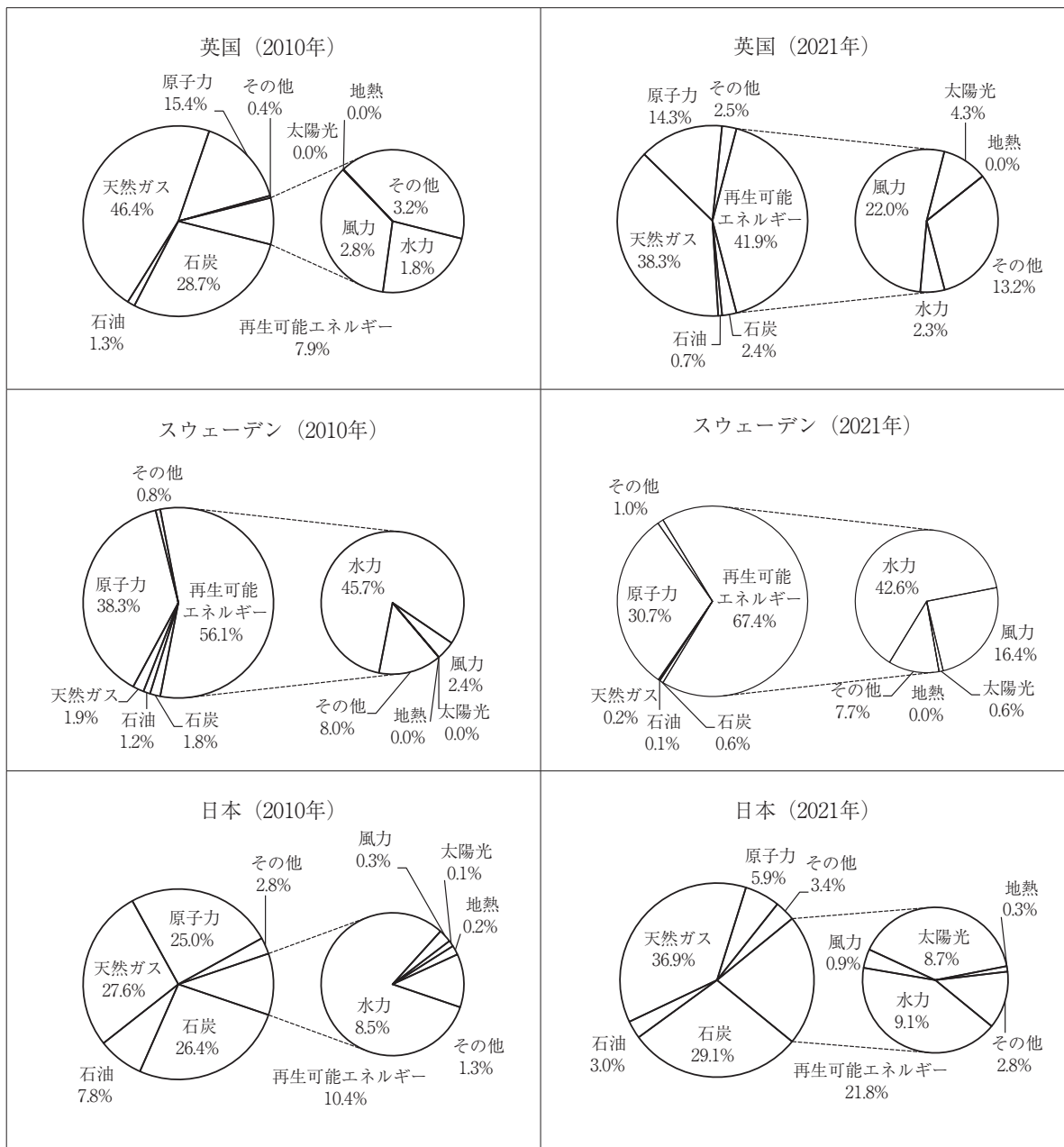
増設にも一歩

国内の原発は33基。再稼働した実績があるのは10基だけだ。政府は原子力規制委員会の安全審査を通過した7基を追加で動かす方針を打ち出す。首相は次世代原子炉の建設検討も指示し議論すら避けてきた増設にも一歩を踏み出した。

原発の稼働は原則40年、最長60年と原子炉等規制法で定められ、建設中を含む全36基を60年間運転したとしても2040年以降は稼働可能な原発が急減する。首相は安全確保を前提としつつ「運転期間の延長など既設原発の最大限活用」を進める方針も示した。

東京電力福島第1原発事故のあった日本では、原発の中長期の活用には国民の理解も必要となる。ただ、世界では電力確保と脱炭素の両立に向け、再生可能エネルギーの導入を前倒ししつつ、その発電量のブレの補完役として原発を拡大する動きが相次ぐ。日本も早急に方向性を出さなければ先には進めない。

【図】 主な国の電源構成



(備考) 国際エネルギー機関 (IEA) 「Monthly Electricity Statistics (2022年8月12日版)」を用いて作成。

(注) 端数処理の関係で小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が100%にならない場合がある。

課題（小論文）

2023年度 文学部 公募制推薦選抜入学試験 課題（小論文）

〈出題内容〉

【哲学科】

なぜ働くのか。いくつかの理由を検討したうえで、あなたの考えとその理由を800字以内で述べなさい。

【史学科】

あなたが最近読んだ歴史に関する本について1200字以内で紹介しなさい。読んだ本の著（編）者名・書名・出版社名・出版年を「論題」欄に記入すること。

【社会学科】

あなたが本学入学後に学びたいことについての図書を1冊読み、あなたが学びたいことを立正大学文学部社会学科でどのように学ぶことができるかを、社会学科専任スタッフの研究領域と関わらせて800字以内で文章化しなさい。読んだ本の著（編）者名・書名・出版社名を「論題」欄に記入すること。

【文学科日本語日本文学専攻コース】

あなたが日本語日本文学専攻コースで学びたいことと関わる図書を1冊読み、その図書の内容とあなたの入学後の展望について、800字以内で述べなさい。読んだ本の著（編）者名・書名・出版社名を「論題」欄に記入すること。

【文学科英語英米文学専攻コース】

以下の2つの課題を課します。

1. 小論文

英文（次ページ以降に掲載）を読み、200字程度の日本語で要約しなさい。そのうえで、600字程度の感想を書きなさい。とくに、アメリカを中心として国際的に展開されたBlack Lives Matter運動との関連に触れること。

2. リーディング練習

英文（次ページ以降に掲載）の下線部を面接時に読み上げてもらうので、発音を確認し、読む練習をしておきなさい。その部分の意味を日本語で説明できるようにしておくこと。また、これを読んでキング牧師の考えとどう違うのかを面接時に尋ねるので、考えておきなさい。

The Life of Malcolm X

Before you read, familiarize yourself with the following groups and persons.

Nation of Islam : An African political and religious movement with the goals of improving the mental, social, and economic condition of African Americans.

Elijah Muhammad : Founder of the Nation of Islam.

Pan Africanism : A worldwide movement with the goal of strengthening solidarity of all people of African descent.

Ku Klux Klan (KKK) : A white supremacist hate group founded in 1865.

Marcus Garvey : Originally from Jamaica, he moved to the U.S. and started the Universal Negro Improvement Association and other organizations. He had a vision of Africa unifying into one party which he would lead. He led the “Back-to-Africa” movement and urged American blacks to migrate to Africa.

Uncle Tom : A black person who is eager to please or cooperate with whites. Uncle Tom is the main character from Harriet Beecher Stowe’s 1852 novel, *Uncle Tom’s Cabin*.

(Excerpt of a speech by Malcolm X)

“Who taught you to hate your own kind? Who taught you to hate the race that you belong to? So much so, that you don’t want to be around each other?..... You should ask yourself who taught you to hate being what God gave you?”

When thinking of the subject of black civil rights, most people immediately think about Martin Luther King, Jr. However, there was another charismatic, influential leader who also became a global voice against racism. What makes this man’s story even more amazing is that he overcame huge obstacles to become a voice for black people all over the world.

Malcolm Little (Malcolm X) was born in 1925 in Omaha, Nebraska. The 1920s were an important time in black civil rights history. Various black leaders emerged and started to organize black people to fight for their civil rights. Malcolm’s parents were supporters of the Pan-African activist Marcus Garvey. However, this caused them to be harassed by the Ku Klux Klan (KKK). Their house was burned down by the KKK. Malcolm’s family moved to Michigan to escape the violence, but they continued to be harassed and attacked by the KKK. When Malcolm was six, his father died in a suspicious “streetcar accident.” His mother believed the KKK murdered him. In addition to this, four of Malcolm’s uncles were killed by white racists. To make matters worse, his mother was committed to a mental institution when Malcolm was 13, and he was sent to a foster home. Despite all this, Malcolm was an extremely bright student and wanted to become a lawyer. However, one day his teacher told him that becoming a lawyer was an unrealistic dream for a black boy. Discouraged, Malcolm dropped out of school.

Eventually, Malcolm moved to Harlem in New York City at the age of 18, where he became involved in crimes such as robbery and drug dealing. Malcolm was arrested and was sent to prison for eight to 10 years. Being in prison was perhaps the low point of Malcolm's life, but it was also where Malcolm transformed into a future leader of the civil rights movement.

During his time in prison, Malcolm began to learn about the Nation of Islam and his leader, Elijah Muhammad. Elijah Muhammad preached that whites were "devils" who were not superior to black people. He urged his followers to separate from whites and promoted black independence. Elijah Muhammad's message was attractive to Malcolm. He started exchanging letters with Elijah Muhammad and eventually became a member of the Nation of Islam. Members of the Nation of Islam were encouraged to give up their given family names because they were "slave names." In this way, Malcolm Little became Malcolm X and began his journey as a new man.

After Malcolm X was released from prison, he became very active in the Nation of Islam under Elijah Muhammad's instruction. He soon became assistant minister of a Nation of Islam Temple in Detroit, Michigan. He then went on to establish and expand temples in Boston, Philadelphia and New York. In a twist of fate, Malcolm returned to Harlem in New York—this time not as a criminal, but as a leader of a temple.

Malcolm X urged blacks to obey the law and be respectable, but "not turn the other cheek" to violence and racism from whites. Simply, his message was to stand up and fight, and demand civil rights. He emphasized that blacks had the right to defend themselves against violence. He also accused Martin Luther King Jr. of being an "Uncle Tom" for his message of loving one's enemies.

Then in 1957, members of the Nation of Islam were beaten and arrested by the New York City police. Malcolm went to the police station and helped arrange medical and legal assistance for them. Outside, an angry crowd of more than 4,000 people gathered. Malcolm X was able to control the crowd and showed that he was truly a leader that black people would listen to.

However, Malcolm X began to have moral disagreements with Nation of Islam leader Elijah Muhammad, and criticized him in public. Then in March of 1964, Malcolm X announced that he was leaving the Nation of Islam. He felt his life was in danger because of his feud with Elijah Muhammad.

Malcolm X then started to study the teachings of Sunni Islam. He performed Haji, the Muslim pilgrimage to Mecca. During this pilgrimage, he saw how Muslims treated all persons, black or white, as part of the same human family. He also met African leaders and other leaders, which globalized his view of the fight for black liberation. He encouraged blacks around the world to work together to battle inequality, and founded the Organization of Afro-American Unity, an organization promoting Pan-Africanism.

Malcolm X continued to urge blacks to be strong and not put up with the oppression of the white man. Then, on February 21st, 1965, he was assassinated by three Nation of Islam members. Malcolm X's message and life can still be seen in music, film and literature. His autobiography was selected as one of the 10 most influential non-fiction books of the 20th century.

課題（レポート）

2023年度 仏教学部 公募制推薦選抜入学試験 課題（レポート）

〈出題内容〉

最近の新聞（日刊の全国紙・地方紙）を読み、関心のあることがらについて自由に課題（テーマ）を設定し、自分の考えを述べなさい。1200字程度。

課題（小論文）

2023年度 データサイエンス学部 公募制推薦選抜入学試験 課題（小論文）

〈出題内容〉

多種多様なデータが利用できる環境が整備されていく中で、データに基づく意思決定が、経済・社会に関わる様々な分野で行われるようになってきています。「ビジネス」・「社会（公共政策、都市計画、環境など）」・「観光」・「スポーツ」の分野の中から1つを選択し、その分野へデータに基づく意思決定を導入することによって、勤や経験だけに頼る場合と比較してどのようなメリットがあるかについて、あなたの考えを述べなさい。800字程度。

小論文

2023年度 地球環境科学部環境システム学科 公募制推薦選抜入学試験問題
(試験時間60分)

自然環境保全の推進に取り組むために、私たち人間の生産活動で気をつけていくべきことについて、あなたの考えを具体的に述べなさい。(800字以内)

課題（小論文）

2023年度 地球環境科学部 公募制推薦選抜入学試験 課題（小論文）

〈出題内容〉

【地理学科】

次ページ以降に掲載の問1、問2からいずれか1問を選択し解答する。

1. 地形図の読図に関する問題。
2. 出題されるテーマや資料（新聞記事や統計資料）に関する問題。

解答にあたり、高等学校・中等教育学校までの学習を通じて習得した知識を用い、800字以内の文章にまとめる（理解度や論理性・文章表現力等をみる）。

2023 年度地球環境科学部地理学科 公募制推薦選抜入学試験問題

問1 次の図1と図2は、国土地理院のホームページ「地理院地図*」に掲載されている2万5千分の1地形図（拡大）と、同じ範囲の色別標高図です。色別標高図は、標高18mまで3mごとに着色しています。これらの図から読み取れる地域の特徴（地形や集落など）について、800字以内の文章で説明しなさい。

*地理院地図ウェブサイト <https://maps.gsi.go.jp>



図1

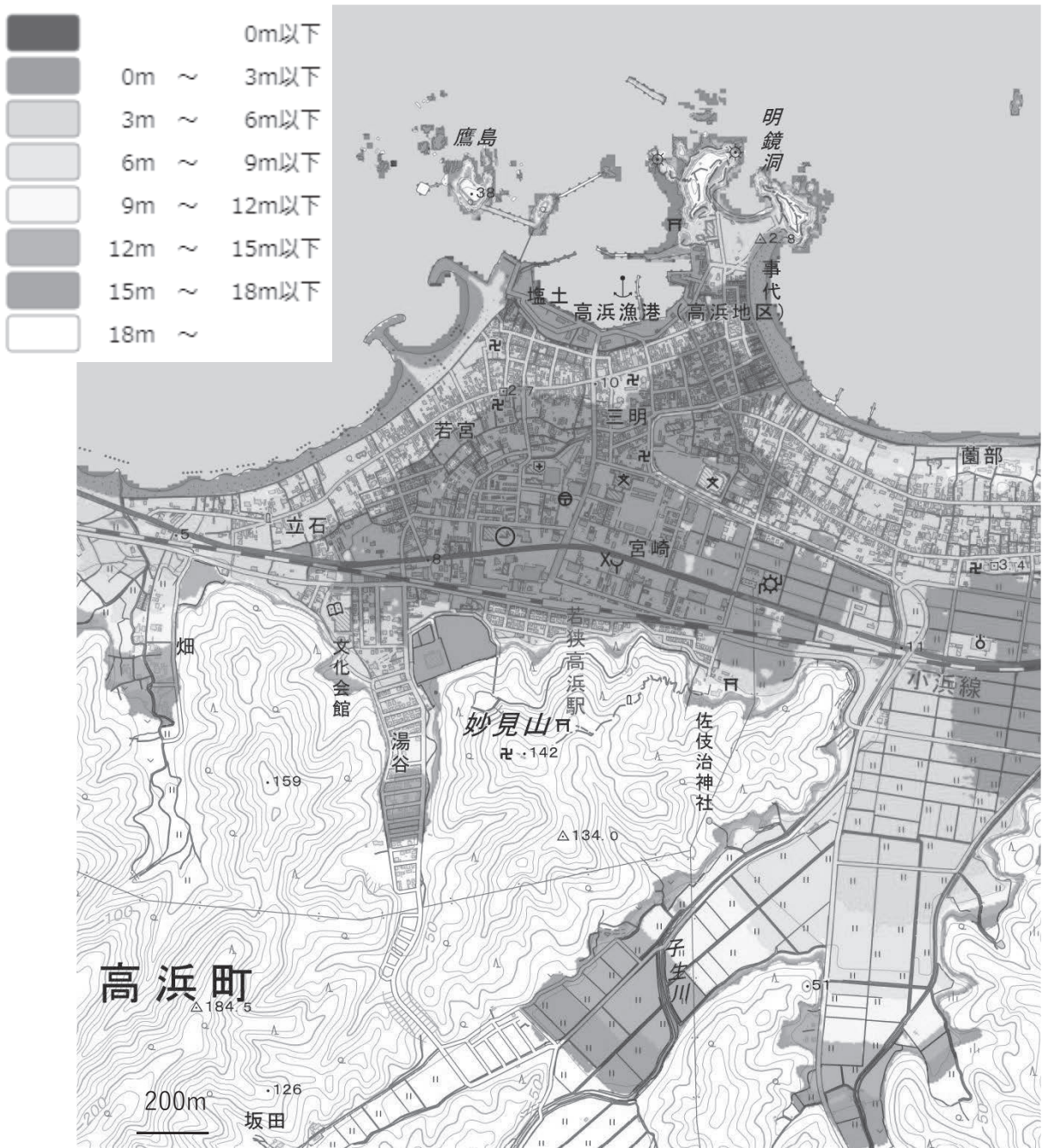


図 2

2023 年度地球環境科学部地理学科 公募制推薦選抜入学試験問題

問2 以下の2つのURLおよびQRコードのリンク先の新聞記事の文章を読んで、記載されている内容から、日本における買い物弱者の発生地域の特色とその要因、対策に関するあなたの意見について、800字以内の文章で説明しなさい。なお、【記事1】については無料で閲覧できる文章範囲を読んで下さい。

※下記のリンクは2023年4月時点のものです。掲載元の都合により、リンクが切れる場合があります。

【記事1】2019年5月1日 朝日新聞「東京）都心の都営団地でも移動販売 買い物弱者を支援へ」

<https://www.asahi.com/articles/ASM4V4JQMM4VUTIL02S.html>



【記事2】2021年6月21日 朝日新聞「伊勢志摩地方で進む「買い物弱者」対策／三重」

https://www.asahi.com/articles/ASP6N774WP6DONFB003.html?iref=pc_ss_date_article



課題（小論文）

2023年度 社会福祉学部 公募制推薦選抜入学試験 課題（小論文）

〈出題内容〉

以下に提示する課題について、あなたの考えを800字以内で述べてください（専門性、論理性、創造性、文章表現力等をみます）。

【社会福祉学科】

2020年度の児童福祉法改正により、体罰禁止が明文化されました。法律に明記しなければいけなかった我が国の背景を踏まえ、しつけと体罰についてあなたの考えを800字以内で述べなさい。

【子ども教育福祉学科】

子どもの育ちを保障するために、次の3つの視点、1) 子どもの遊び、2) 子どもの食と健康、3) 子どもの人間関係、から1つ選んで、それぞれどのような点が考慮されなければならないのか、あなたの考えを800字以内で述べなさい。